学校番号	411

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　数学Ⅱ（数研出版）						
副教材等	新課程　教科書傍用　3TRIAL　数学Ⅱ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業中の練習問題、問題集の問題は必ず自分の力で解いてください。間違えた問題は、解説を読み、どこで間違えていたのか確認しましょう。また、分からない問題も、解き方を覚えるのではなく、解説の一文一文をしっかり理解しながら読み進めてください。
毎回の授業を大切にし、分からない部分があったらその都度質問して、疑問点を解消してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的な概念や原理・法則（公式）などの知識の習得と技能の習熟ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
原理・法則を理解し、事象について論理的に考察と表現を行うことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に課題に取り組み、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	式と証明、複素数と方程式、図形と方程式ついての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につける。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察している。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	式と証明	・式と計算 ・等式・不等式の証明	a: 二項定理を利用して，展開式やその項の係数を求めることができる。絶対値の性質を利用して，絶対値を含む不等式を証明することができる。 b: 整式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。不等式の証明に実数の性質を利用できるように式変形を考えることができる。 c: 因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。比例式を含む等式の証明を通じて，加比の理に興味をもち，考察しようとする。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出
2学期	複素数と方程式	・複素数と2次方程式の解 ・高次方程式 ・三角関数	a: 複素数の四則計算ができる。因数分解や因数定理を利用して，高次方程式を解くことができる。180°以上に三角比を拡張できる。 b: 複素数の表記を理解し，複素数 a+0i を実数 a と同一視できる。高次方程式を1次方程式や 2 次方程式に帰着させることができる。 c: 2次方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し，考察しようとする。高次方程式が虚数解 a+bi を解にもてば，a−bi も解にもつことを理解し，積極的に用いようとする。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出
3学期	図形と方程式	・点と直線 ・円 ・軌跡と領域 ・指数関数と対数関数 ・微分法と積分法	a: 座標平面上において，2 点間の距離が求められる。軌跡の定義を理解し，与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。指数法則を用いて計算できる。微分の計算ができる。積分の計算ができる。 b: 座標平面を利用して，図形の性質を証明することができる。平面上の点の軌跡を，座標平面を利用して考察することができる。 c: 図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知ろうとする。2直線の交点を通る直線の方程式に興味・関心をもち，具体的な問題に利用しようとする。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態

度